

平成 22 年度 事業報告書

1. 芸術文化の普及活動

(1) プロオーケストラに対する助成

前年度中に決定した意欲的な公演企画及び運営企画に対して「アフィニス インプレム」助成を
また、多くの人に聴いてもらいたい優れた公演に対して「アフィニス エチケット」(おすすめコンサート)助
成を、そして飯田音楽祭における「地域交流プログラム」に対しての助成を行った。「楽器購入
助成」は、助成申請がなかったことから実績はない。

(2) 社団法人日本オーケストラ連盟が実施するクラシック音楽の普及事業に対して助成を行な
った。

(3) 平成 23 年度の助成対象企画を募集し、選考の上、対象企画を決定した。

なお、運営委員会において平成 27 年度までの「アフィニス インプレム」の募集を行ない選考の上、
対象企画を内定した。

2. 芸術文化活動及び芸術家の研鑽に対する助成

(1) 音楽家養成のための海外派遣については、前年度に行なわれた選考会で内定したプロオ
ーケストラ楽団員を海外研修員に決定し、助成を行った(3 名)。

また、平成 23 年度の海外研修員についても、希望者を募り、審査を行なって内定者を選出し
た(1 名)。

(2) 「第 22 回アフィニス夏の音楽祭」を実施した。

海外から講師を招聘し、室内アンサンブルの演習、演奏会、山形交響楽団をホストオーケスト
ラとする合同オーケストラ演奏会を行なった。

また、「第 23 回アフィニス夏の音楽祭」の開催準備に向けた諸準備を進めた。

(3) 「アフィニス・アンサンブル・セレクション」シリーズを実施した。

プロオーケストラ楽団員に、アンサンブル活動等の成果発表の場を提供するため、JT アート
ホール アフィニスで 10 回の演奏会を開催した。

3. 芸術文化活動に関する調査研究

平成 20 年度より「アフィニス文化財団二十年の総括」を進めており、『アフィニス文化財団 20 年
の歩み』を刊行した。

4. その他目的達成事業

CD による会報を 2 回発行した(アフィニスサウンドレポート NO.38、NO.39)。